

大津のことがもっと好きになる情報誌

広報 おおづ

7
JULY 2014

今月のみどころ

大津まちおこし大学 平成26年度学科生募集

仲間との出会いと学びの場、大津まちおこし大学にあなたも参加しませんか

美咲野小学校土曜授業

5月に行われた美咲野小学校土曜授業の様子をご紹介します

クローズアップ大津人

吉良洋輔さん



今月の表紙

6月13日、陣内幼稚園の子どもたちと保護者、グラウンドゴルフ陣内愛好会の皆さんの交流会がありました(記事は2ページ)。

Proud!
Japan

東日本大震災の復興を支援しよう

Public relations
OZU TOWN

広報おおづ 2014 7

発行・編集 ■大津市・総合政策課
〒869-1292 熊本市東区大津町大字大津 1233 番地
TEL.096 (293) 3111 <http://www.town.ozu.kumamoto.jp/>
※広報おおづは環境に配慮して再生紙と植物油インクを使っています。

UD
FONT
易やしく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

clozu-up
Ozu-jin
クローズアップ 大津人

普段は教壇に立っている吉良さん。大会当日は吉良さんが顧問をしている野球部の部員たちも応援に駆けつけてくれた

吉良 洋輔さん (真木)

活動を続けられるのは、 周囲の協力があってこそ

6月8日に開催された「大津町消防団消防操法大会」。吉良洋輔さんはその大会に選手として出場し、第7分団真木班の指揮者を務めた。今回はそんな吉良さんをクローズアップする。

吉良さんの職業は中学校教諭。現在は母校である大津中学校2年生の学年主任をしている。「生徒たちに操法の話をする、みんな気遣ってくれたり、温かい言葉をかけてくれたりします。優しい子どもたちばかりです」と吉良さんは嬉しそうに語る。生徒たちの応援だけでなく、同じ職場の先生たちの協力や保護者の理解を得られていることも、吉良さんが消防団員として活動を続けられる理由の1つだ。

吉良さんが消防団に入ったのは10年前。赴任先の学校が遠方だったこともあり、本格的に消防団の活動に参加できるようになったのは3年前だ。2年前の九州北部豪雨災害の際は、消防団員として住民の避難の手助けをするなどの活動を行った。このとき、消防団の大切さを改めて痛感したという。「活動を通して、消防団員がいるから町民が安全に過ごせるのだということに気付きました。消防団員として活動していると、人とのつながりや温かさを感じることが出来ます。助けたり助けられたりする絆を得られるのが、消防団の良いところですね」と吉良さんは教えてくれた。

消防団の活動と仕事を両立させるためには、周囲の理解が必要不可欠だ。「周囲が協力体制をとってくれている自分は、とても恵まれていると思います。そのことにもっと感謝しながら、これからも活動を続けていきたいです」と吉良さんは笑顔で語った。

▼久しぶりに町の図書館に行きました。昨年、広報紙で特集をしたときは毎日のようにお邪魔していたのですが、最近ではすっかり足が遠のいていたのです。利用券を使うのもずいぶん久しぶりだったので、ちゃんと使えるか少し心配になりました。無事に使えて良かったです。▼先月の「つつじの声」で、「もっとたくさん本を読みたいと思います」といった内容のコメントを書いたのですが、現時点では全然読めていません。買っただけで、読むこともないまま積まれていく本が増えていく一方です。そろそろ本を収納するスペースもなくなってきました。まずい状態です。これからは、読みたい本は図書館で借りるなどして、もっと図書館を利用したいと思います。(一)

つつじの声

厳しい練習を共に乗り越えてきた第7分団の仲間たち

